

大きくなあれ未熟児総合ケア推進事業

(分担研究：ハイリスク児の発達支援（早期介入）システムに関する研究)

研究協力者：飯田芳枝 共同研究者：林 正男

要約：石川県では平成8年度の県事業として「大きくなあれ未熟児総合ケア推進事業」を実施している。これは未熟児保健・医療連携事業、大きくなあれフォローアップ事業、未熟児育児支援ケース検討会の開催、「大きくなあれ親の会」の育成と支援の4本柱よりなっている。退院時保健・医療連携事業では実際に開始された平成8年9月から平成9年3月までに39名に、未熟児の訪問指導は48/52(92.3%)に行なわれている。平成9年8月には「大きくなあれ未熟児総合ケア推進事業保健・医療連携会議」を開催し、さらにこの事業の充実と発展を図っている。今後、本事業が中心となって、石川県におけるハイリスク児の発達支援がさらに推進されると考えられる。

見出し語：石川県、総合ケア、未熟児、育児支援

目的：未熟児が健やかに育つために保健・医療福祉関係者の連携を強化し、未熟児やその保護者への支援体制の整備を図る。

事業内容ならびに報告

1. 未熟児保健・医療連携事業

退院時連携については、事業が開始された平成8年9月—平成9年3月までの間に、県立中央病院、金沢医科大学、金沢大学などにおいて、2.5kg未満の未熟児39名に、地区保健婦が親の了解を得て、NICUを退院までに訪問し、主治医より話を聞き、退院後の保健指導に繋げている(表1)。さらに平成9年12月までに41名をNICUへ訪問訪問している。

平成8年度低体重出生状況及び家庭訪問状況は表2の通りである。

2. 大きくなあれフォローアップ事業

各保健所における開催回数と参加者数は表3の通りである。

3. 「大きくなあれ親の会」の育成

各地区において親の会が表4のように開催されている。

4. 関係機関事例検討会及び研修会開催(表5)

平成9年度「大きくなあれ未熟児総合ケア推進事業保健・医療連携会議」平成9年8月26日開催
場所：石川県職員会館。出席者：NICU保有の小児科医、NICU病棟婦長などと保健所関係者。次の事項が報告され討論された。

1. 「平成8年度大きくなあれ未熟児総合ケア推進事業報告等」

2. 「平成9年度南加賀保健所の当事業の取り組みについて」

表 1 退院時保健・医療連携事業(平成8年9月→3月)

医療機関	体重 件数	計	~1.0kg 精	1.0~1.4 kg	1.5~1.9 kg	2.0~2.4 kg
県立中央病院		20	1	8	5	6
金沢医科大学		10	3	2	4	1
金沢大学		1		1		
国立金沢病院		3		1	2	
恵寿総合病院		2			1	1
宇出津総合館		1				1
珠洲総合病院		2			2	

表 4 大きくなあれ親の会の育成(平成8年度)

区分	計	山代	津幡	羽咋	珠洲
回数	6	1	1	3	1
参加者	35	6	6	17	6

3. 「NICUにおける母親への支援報告」

結語：

県単位の事業として未熟児のNICU入院中の退院後の連携からフォローアップ、支援まで行なっているのは石川県のみである。NICU入院中に担当保

健婦が訪問し、主治医に話を聞き、退院後の保健指導に繋げる制度や、かかりつけ医の紹介制度は高く評価されている。今後、本事業が中心となつて石川県のハイリスク児の支援がさらに充実されると考えられる。またこの制度が全国に普及することを願っている。

表 2 平成8年低体重児出生状況及び平成8年度未熟児等家庭訪問実施状況
保健所母子保健事業報告

		石川県 (在外不在)	山代	小松	松任	津幡	羽咋	七尾	輪島	珠洲
～1800 グラム以下	出生数	52	8	12	6	10	7	7	2	0
	訪問実人数 訪問実施率	44 (84.6%)	7 (87.5)	10 (83.3)	4 (66.7)	8 (80.0)	7 (100)	6 (95.2)	2 (100)	0
	訪問遅人数	70	12	26	6	10	8	6	2	0
1801～ 2000 グラム以下	出生数	38	5	9	8	6	5	1	4	0
	訪問実人数 訪問実施率	23 (60.5%)	2 (40.0)	5 (60.0)	6 (75.0)	2 (33.3)	3 (60.0)	1 (100)	1 (25.0)	3
	訪問遅人数	25	2	5	7	2	3	1	1	4
2001～ 2300 グラム以下	出生数	116	14	23	30	11	13	10	9	6
	訪問実人数 訪問実施率	44 (37.9%)	5 (35.7)	2 (8.7)	11 (36.7)	4 (39.7)	6 (49.2)	6 (60.0)	6 (66.7)	4 (66.7)
	訪問遅人数	50	5	2	12	4	8	6	9	4
2301～ 2500 グラム以下	出生数	221	25	51	57	24	18	24	16	6
	訪問実人数 訪問実施率	75 (33.9%)	7 (29.4)	2 (3.9)	26 (45.6)	16 (68.6)	6 (33.3)	10 (41.7)	8 (50.0)	0
	訪問遅人数	83	7	2	28	16	6	10	14	0
2500 グラム以下 計	出生数	427	52	95	101	51	43	42	31	12
	訪問実人数 訪問実施率	186 (43.6%)	21 (40.4)	19 (20.0)	47 (46.5)	30 (58.8)	22 (51.2)	23 (54.8)	17 (54.8)	7 (62.9)
	訪問遅人数	228	26	35	53	32	25	23	26	8
* 全出生数	6,689	739	1589	1548	971	534	720	406	193	

* 平成8年人口動態統計(概数)

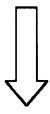
表 3 大きくなあれフォローアップ事業(平成8年度)

未熟児の発育や発達を定期的に観察したり、栄養又は運動発達のための運動療法等の育児教室を開催した。(各保健所)

区分	計	山代	小松	松任	津幡	羽咋	輪島	珠洲
回数	25	3	4	2	3	4	6	3
参加者	340	44	73	33	46	60	63	21

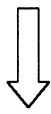
表 5 関係機関事例検討会及び研修会開催回数
(平成8年度)

区分	計	小松	七尾	珠洲
回数	6	3	3	1



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:石川県では平成 8 年度の県事業として「大きくなあれ未熟児総合ケア推進事業」を実施している。これは未熟児保健・医療連携事業、大きくなあれフォローアップ事業、未熟児育児支援ケース検討会の開催、「大きくなあれ親の会」の育成と支援の 4 本柱よりなっている。退院時保健・医療連携事業では実際に開始された平成 8 年 9 月から平成 9 年 3 月までに 39 名に、未熟児の訪問指導は 48/52 (92.3%)に行なわれている。平成 9 年 8 月には「大きくなあれ未熟児総合ケア推進事業保健・医療連携会議」を開催し、さらにこの事業の充実と発展を図っている。今後、本事業が中心となって、石川県におけるハイリスク児の発達支援がさらに推進されると考えられる。